

令和5年度 ともに未来を創る「くるめっ子」を育成する 川会小学校プラン

《学校の教育目標》

志を育み、心豊かにたくましく学び合う学校文化の創造

《本年度 学校の重点目標》

気づき・考え・表現(行動)できる子どもの育成

基礎基本的な知識及び技能を習得し、進んで生活に生かすことができる。

【つくる力】

違いを認め合い、相手や状況に合わせて適切に表現し、お互いの考えを取り入れながら協働できる。

【つなぐ力】

目標を持ち、互いに支え合い、困難を乗り越えあきらめずに挑戦しようとする。

【つらぬく力】

学びをつなぐ授業



- ① 学力向上プラン「視点2」に記載
- ② 自分の考えを作り、出し合う活動を位置づけた授業を行う。(国語・算数毎時間)
【成果指標】児童評価「勉強が分かる」3.1以上
- ③ ICTを活用して教材の提示、情報収集、写真や動画等による表現活動の工夫を行う。(1日3回以上)
- ④ 教員のスキルアップ研修の実施と教材の作成し、ALTとHRTが連携した活動を行う。(毎時間)

笑顔の先生

- ① 学力向上プラン「視点4」に記載
 - ② 3部会の設定、各種会議について報告・連絡・相談を徹底し、会議の目的と人数・時間設定が適切かを見直す。(毎回の会議)
- 【成果指標】「先生が分かるまで教えてくれる」と答える児童の割合が3.0以上

協働する学校・家庭・地域

- ① 地域学校協議会プラン「提言①」参照
- ② 地域学校協議会プラン「提言②」参照
- ③ 学力向上プラン「視点4」に記載



楽しい学校

- ① 「くるめアクションプラン」の初期対応を徹底する。(毎日)不登校対策委員会で、ケースに応じた対応策を検討し、全職員で共有する。(月1回)学校生活の状況や悩みを把握する児童・教員の2者面談を行う。(学期1回) 【成果指標】不登校数が0人、いじめの認知件数が20%以上
- ② 児童会、委員会が主体となった健康づくり運動として「朝食を食べる」「手洗いの励行」「学年に応じた早寝早起き」の実態を調べ、伝える取組を行う。(月1回)
- ③ 児童主体で計画・運営する集会を開催し、自分や友達の活動のよさを振り返る活動を行う。6, 5年生を中心とした活動(縦割り班そうじ、あいさつ運動、運動会等)を成功させる。(達成感90%以上)

【体力向上】

- ① 体育の時間のはじめに、持久力を高めるための3分間走や短縄跳びを行う。(毎時間)
- ② 川会小学校チャレンジ広場(長なわ、ドッチボールラリー等の「1学級1取組」運動)
 - ・体力アップシート活用率:目標90%
 - ・スポコン広場登録学級:目標全学級

【あいさつ・そうじ・自学自習】

- ① 「あいさついっぱい運動」のアイデアを児童会で募集し、全校で実施・評価する。(毎学期)
- ② 「だまってそうじ」を合言葉に、掃除後の振り返りタイムでよさを出し合う。(毎日)
- ③ 家庭学習(内容・方法)の習慣を徹底する。宿題は、やり直しを徹底する。(毎日)

基盤として大切にすること(本年度の重点)

- 【人権・同和教育】 「人権・同和教育の視点に立った指導のポイント」を活用して、人権が尊重される「学習活動づくり」「人間関係づくり」「環境づくり」を行う。 [要項P147]
- 【特別支援教育】 「困難さのある児童生徒に対する支援の充実のために」を活用し、同学年や特支コーディネーター、特別支援学級担任、支援員による協働的な支援を行う。 [要項P135]
- 【キャリア教育】 キャリアパスポートを活用して目標に向かって取り組み、自己の伸びを認め合う。 [要項P137~参照]